

## 自律走行型パーソナルロボット「t e m i」を使った買い物支援 (実証実験)を行います！

古賀市小野地区で、デジタル技術を活用し遠隔で高齢者の買い物を支援する取組の実証（2年目）を行っています。今回は、自律走行型パーソナルロボット「t e m i」を使って遠隔地からの買い物支援を実証実験します。市内でも買い物や移動に課題を抱える高齢者が多い小野地区内の高齢者施設において、実際に「t e m i」を使って遠隔地からの買い物を体験してもらいます。

### ■目的

小野地区は、古賀市の東部に位置する自然豊かな地域ですが、「第8期期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画」によると市内で地域住民の公共交通の利用割合が最も低く、また日常的な買い物が困難と答えた割合が市内で最も高く、地域活性化のために住民の利便性の向上が重要と考えられています。

そこで、スマートアグリビレッジおの推進協議会(事務局:古賀市役所農林振興課)では、農林水産省の中山間地農業ルネッサンス推進事業(元気な地域創出モデル支援)を活用し、NTTコミュニケーションズ株式会社の協力を受け、小野地区においてスマート農業の推進やデジタル技術を活用した生活支援に取り組んでいます。

今回は、生活支援の一環として自律走行型パーソナルロボット「t e m i」を使って、遠隔地からの買い物支援の実証に取り組みます。

### ■実施内容

今回の実証では、市の農産物直売所コスモス広場から、自律走行型パーソナルロボット(t e m i)のカメラ映像を高齢者施設に送り、参加者がモニターの映像で商品を確認しながらスタッフに購入したい商品を伝え、遠隔でコミュニケーションを図りながら買い物をを行います。

#### \*自律走行型パーソナルロボット〔t e m i (テミ)〕

「t e m i」は自律走行やテレビ電話などの機能を備えた先進ロボットで自動追従機能も搭載しており、まるで一緒にお買い物をしているような感覚が味わえます。



### ■実施日時・場所

- ・日時：1月23日(木)11時～
- ・会場：有料老人ホームこはる茶屋(古賀市米多比555-1)
- ・買い物場所：農産物直売所コスモス広場(古賀市青柳658-1)
- ・内容：上記のとおり

■主 催 「スマートアグリビレッジおの推進協議会」

小野地区でスマート農業技術の普及とデジタル活用による生活支援を目的に、小野地区の農業者や九州産業大学の研究者、市社会福祉協議会などを構成員とする任意団体として、令和5年3月に設立

今年度は、NTT コミュニケーションズ株式会社に実証業務を委託し、リモコン式自走式草刈機や農業センサーなどスマート農業の実証業務やスマホ教室などデジタル活用支援を実施。

【問い合わせ先】

古賀市役所 農林振興課農政係 担当：高原、村山

電話：092-942-1120

メール：nousei@city.koga.fukuoka.jp